

2026年10月10日(土)

中日新聞 愛知県内版(朝刊)

「電話応対」県大会 44人腕競う

優勝は佐川急便・大野さん



問い合わせに応えるコンクールの出場者＝名古屋・栄の名古屋商工会議所で

ビジネス現場での電話応対技術を競う「電話応対コンクール」の県大会が9日、名古屋・栄の名古屋商工会議所であった。県内の予選を通過した個人や企業の社員44人が出場し、大野夏実さん（佐川急便中京支店佐屋営業所）が優勝した。

競技は「花を贈りたい」という架空の客からの要望に応え、日本語の正しさや応対の自然さなどを審査した。主催の日本ICTテレコムユーザー協会によると、笑顔が目につくような話し方「笑声」が好印象を生むという。出場者は緊張も交えつつ、明るく丁寧な受け答えを披露した。

優勝の大野さんと準優勝の可知美輝さん（個人）、3位の鶴見夕美さん（アルティウスリンク）は、11月に福岡市で開かれる全国大会に出場する。大野さんは「日々に一緒に業務にあたる（職場の）皆さんのおかげ。全国大会も頑張りたい」と喜んだ。（田村貴也）